

FAボックス

NETIS登録番号：(旧) QS-110006-VE
平成27年度活用促進技術

FA工業会

〒811-1102 福岡市早良区東入部5-15-7 (株)ヤマウ
TEL 092-872-3331 FAX 092-872-3332 URL https://fabox.jp

[会員社] (株)アドヴァンス、池田東北(株)、(株)イズコン、ケイコン(株)、昭和コンクリート工業(株)、(株)高見澤、千葉窯業(株)、東洋ヒューム管(株)、日本興業(株)、ランダス(株)、日本コンクリート(株)、興産産業(株)、永井コンクリート工業(株)、(株)ミルコン、鶴見コンクリート(株)、ヒロセ補強土(株)、三和コンクリート工業(株)、(株)旭ダンケ、(株)ヤマウ



概要

「FAボックス」は、3分割されたプレキャスト部材と現場打ちコンクリートを併用した、大断面ボックスを構築する工法。頂版、側壁を分割構造(セグメント化)とすることで、「斜角」への対応が容易となる。

特長

1. 優れた経済性

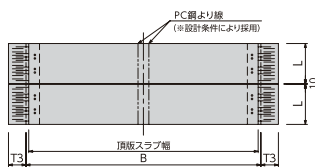
各プレキャスト部材(側壁・頂版)をスラブ構造としたことで、製作コストを下げることができ、さらに頂版の斜角対応が容易となることで工事全体の費用削減と工期短縮を実現する。

2. ループ継手による剛構造

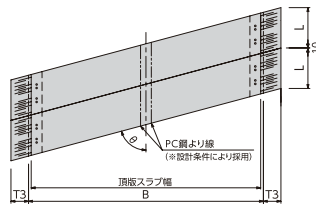
接合隅角部にループ継手を設け、剛結合として一体化する技術を九州大学と共同で開発。2020年には「正負交番載荷実物大実験」を実施し、十分な耐震性能を有することが証明された。

構造概要

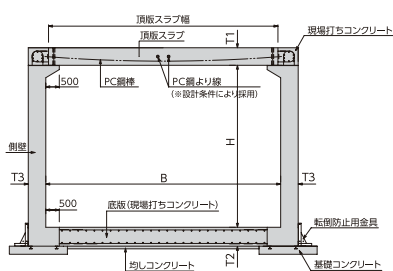
標準平面図



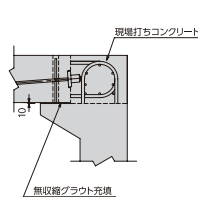
斜角平面図



断面図



隅角部構造



製品規格

カルバート寸法		
内空幅B (mm)	5000	~ 12000
内空高H (mm)	2000	~ 7000
頂版厚T ₁ (mm)	300	~ 750
底版厚T ₂ (mm)	300	~ 1000
側壁厚T ₃ (mm)	300	~ 750
斜角θ (°)	60° ≤ θ ≤ 90°	

※角度は5°ピッチで対応。上記規格以外は要問い合わせ。

施工手順



①基礎

施工性を高めるためレール基礎を標準とする。



②側壁施工

レール基礎上に設置するため正確で迅速な掘削ができる。



③頂版スラブ架設

通常の玉掛ワイヤー4点吊りにて架設する。



④頂版隅角部の配筋状況

頂版スラブと側壁スラブのループ継手構造。



⑤底版部の配筋

底版部の鉄筋を組み立てる。



⑥施工完了

頂版隅角部および底版部にコンクリートを打設し完了。